

令和5年2月27日

報道関係者各位

株式会社 八木熊
代表取締役社長 八木信二郎
0776-67-1350

(株)八木熊はプラスチック分野で地球環境改善に取り組めます。

1. 背景

弊社は本社を福井県福井市照手に有し、大別して繊維関連部門、合成樹脂等商品部門、製品関連部門の3事業を展開しています。製造拠点を坂井市に配置しており、そこでは射出成形といわれる成形手法で再生プラスチックを含む様々な原材料を使用しながら開発製造実績を有しています。

プラスチックは、産業用強化プラスチックから一般家庭用プラスチックまで、我々の生活の必需品であり、市場に全体の3分の1が流通していると言われています。

使用済みのプラスチックは産業廃棄物として処理され、一部は中国に輸出されてきました。2016年には中国への出荷が130万トン（または出荷額）となっていましたが、2020年に受入れ中止を発表後、プラスチック業界は産業廃棄物の処理問題に直面しています。SDGsなど国際的環境改善の高まりも受けている中、特に、「建築土木」「繊維」「農業」「自動車」市場では、課題解決に待ったなしの状況となっております。

2. 弊社取組

このような状況の中で、弊社は再生プラスチック分野に着目し、新分野展開に乗り出します。

(1)技術調査結果

県産業労働部補助事業（令和3年度 成長産業チャレンジ支援事業 可能性調査試験）を活用して廃プラスチック適正利用を目的とした可能性調査試験を実施致しました。弊社の技術調査では、第一に、福井県工業技術センターにおける蛍光X線分析や福井大学遠赤外領域研究センターとの共同研究の結果、市場から回収された廃プラスチックに付着した不純物の解析と含有量の調査、廃プラスチック再生の為の不純物許容含有量の評価を実施致しました。第二に、産業廃棄物として処理されていた廃プラスチックを洗浄する事で再生プラスチック原料とする為の研究開発と実際に作成した原料を用いて成形試作を実施致しました。

(2)事業再構築

弊社は、経済産業省 中小企業等事業再構築促進事業を活用して、使用済みプラスチックを、量産製造にも対応可能な処理能力を有した粉碎機および洗浄機その他付帯設備を導入し、環境マテリアル部門を強化する事業再構築に乗り出します。事業体系として、従来からの主力である製品関連部門に、環境マテリアル部門を加えて新分野展開を行います。なお、令和5年6月頃に粉碎機、洗浄機などの大型設備導入を予定しています。導入設備の本格運用の際には、報道機関の皆様への公開を検討しております。

現在、製品関連部門では年間25億円程度の事業を展開しています。新分野展開として環境マテリアル部門を立ち上げ、2030年での新規売り上げとして30億円を目指していきます。社内体制として岩口悦三理事を事業責任者として、事業開発本部内に環境マテリアル統括部を設け、営業部門、素材技術開発部門に加え、今後生産部門、品質管理部門の展開を行っていきます。

事業再構築補助金の獲得にあたってはふくい産業支援センターの支援を受けております。

(3)市場ニーズの掌握

弊社では、令和4年12月7日（水）より、千葉県の幕張メッセで開催されたサステナブル・マテリアル展において、環境問題への対応として、回収・造粒・成形による再生プラスチック有効活用の提案を行いました。この結果、全国の500社の高分子材料・プラスチック素材を扱う企業とのコンタクトを行う事が出来ました。国際的環境改善要望のニーズの高さを確認しております。一例として、「現在産業廃棄物として処理しているものを有効活用したい」というご要望に対して、実際に県産業労働部補助事業で確立した技術を活用する事でお客様の課題解決に取り組んでおります。

(4)素材技術開発の継続

弊社では現在、新たな技術開発にも取り組んでいます。再生プラスチック材料で新規プラスチック材料同等以上の物理的性質を実現するためには、外部機関と連携した更なる研究開発の継続が必要です。このため、公益財団法人ふくい産業支援センターの「産総研シーズ活用可能性試験調査研究支援事業」を活用し、産業技術総合研究所と共同研究を実施しています。再生材料内部の樹脂化学状態や形態等の状況把握、異種材料間の界面状態の把握、機械特性の評価などを行い、再生プラスチック材料の高品質化を目指していきます。必要に応じてふくいオープンイノベーション推進機構、福井大学等との連携を行っていきます。

3. 事業説明会

上記について、報道機関様を対象に下記の事業説明会を開催しますので、ご案内いたします。

日時 3月7日 10時～11時 場所 八木熊本社

内容

環境マテリアル事業報告会

- ・事業再構築補助金
- ・成長産業チャレンジ支援事業結果報告
- ・アップサイクル樹脂作成技術（産総研シーズ活用可能性試験調査研究支援事業）
- ・技術紹介（リサイクルベレット特性、再生製品のご紹介）、全体に関し質疑応答

再生プラスチック処理事例

(1)使用済みプラスチック事例



(a)農業用フィルム使用済み品



(b)道路工事用バリケード使用済み品

(2)再生プラスチックを用いて成型した事例



(a)農業用フィルムからのリサイクル事例



(b)バリケードからのリサイクル事例

4. 取材申し込み

取材の申込方法：下記、E-mail または FAX にて①会社名、②氏名 ③連絡先 ④カメラ持込の有無の4点を記載の上、2023年3月3日（金）17時までにご連絡下さい

■本プレス発表会に関するお申し込み/お問い合わせ先■

環境マテリアル統括部 担当：西川

E-mail：m.nishikawa@yagikuma.co.jp

電話：0776-67-1350